



金澤山 福泉寺 円能院



<18号>

真言宗 智山派
円能院
川崎小田

八面玲瓏

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

我々の想定や予想を大きく覆されるような天災・事故が多発し、将来への不安を多くの人が感じていらつしやると思います。一昨年に起きた原子力発電所の放射能漏れによる被害の実態すら見えていません。隣国との領土問題は深刻ですし、そこから派生してきた日本製品ボイコットなどの解決には長い時間がかかると思われまます。

一生のうちには思いがけないことや避けたいことを経験することが多くあります。お釈迦さまがお生まれになった頃のインドは、巨大なコーサラ国とマガダ国の緊張関係が続いていたと言われています。お釈迦さまは釈迦族の王子と言われますが、釈迦族はコーサラ国に支配されていた小国です。コーサラ国の新しい国

王はお釈迦様の生まれた釈迦族から妃をもらいたいという要求をしました。しかし、小国の釈迦族は支配されているコーサラ国の妃として送ったのは身分の低い出身の娘だったそうです。その娘が王子を産み、王子が幼い時に母の生まれたカピラ城に帰った時に、身分の低い母から生まれたことを告げられてしまったのです。自分の母が身分の低い出身であることを侮辱された王子はコーサラ国に帰り、後に王になり復讐のために、自分を蔑んだ母方の親戚である釈迦族を滅ぼしてしまつたということです。

苦しんでいる釈迦族の女性たちのもとにお釈迦さまはいらつしやつて、「諸法は無常であり、愛する人と自由である。恨みや憎しみの循環から抜けられれば苦しみは消える」という説法をされたと言われています。

この悲劇の源は、お釈迦さまを生み出した高貴な血筋であるという釈迦族のプライドが仇となつたということだと思えます。お釈迦様のような素晴らしい人を輩出した民族は、周囲から尊敬されるうちに有頂天になってしまつていたのです。この驕り高ぶつた意識は自分では気づくことは難しいようです。

かつてはジャパン・アズ・ナンバー・ワンともてはや

された日本人や日本企業は、海外から見ると自信過剰で傲慢に見えていたのではないのでしょうか？海外旅行をしていた日本人の傲慢ぶりは、近年のアジアの大國から来日する人々と同じだったのでしょう。

不安な時には状況は悲観的にしか見えませんから、行動が卑屈になったり、結果を焦つて素晴らしいアイデアが枯渇してしまいがちです。

好調な時には夜郎自大になり、不調な時には悲観的になるのが人間の性なのでしょう。人間は自分が考えるほど周囲の状況を冷静沈着に把握することはできません。と考えるべきなのかもしれません。

八面玲瓏(はちめんれいろう)という言葉があります。どこから見ても雲ひとつない晴れ渡つた景色や、心境のことです。そのような心境になりたいといつも思つていてもなれるものではありません。では、諦めてしまふのでしょうか？

お釈迦様は人間の業をありのままに見つめて認め、運命に振り回されることに対する恨みや憎しみから自らを解き放てれば、人は自由になれると言われたのだと思えます。

先が見えない不透明な時こそ、我々ができることは自分自身を爽やかで穏やかな心境にすることです。焦つて余裕がなくなると、挑発的な言動が勇ましく感じられますが、その時にはすでに状況は見えていないのです。

平成二十五年元旦

円能院住職 佐藤隆一

円能院のお不動様

大正十二年九月一日に起きた関東大震災によって川崎地区も甚大な被害をこうむりました。円能院も山門（嘉永二年・一八四九年建立）を除くすべての建物が倒壊しました。

円能院復興の命を受けて大本山川崎大師平間寺から佐藤隆恩師が円能院の住職として入山され、境内の整備に着手しました。



▲四季の花「梅」

※平成二十四年度中に、本堂建立資金へ四十万円（三件）ご寄付頂きましたことをご報告致します。



▲不動尊像

円能院檀徒で不動信仰の篤かった竹内政吉氏は「円能院の本堂に安置している不動明王像が震災によって破損が酷い。一時も早く修復せよ」という夢告によって人の背丈以上の立派な不動尊像を修復されました。

やがて満州事変（昭和六年）、日中戦争（昭和十二年）、太平洋戦争（昭和十六年）へと時代は軍事色が強まり、ついに昭和二十年四月十五日、川崎地区も爆撃により焼け野原となりました。円能院ではまたしても、山門以外の建物のすべてを焼失してしまいました。しかし、隆恩住職は本尊大日如来像（江戸時代造）、弘法大師／興教大師象（ともに元文四年・一七三九年三月二十日造）、檀家の過去帳などの移動可能な重要物を防空壕に運び込み、難を逃れることになりました。

しかし、背丈以上の不動明王像は人力での移動は不可能であり、焼失してしまいました。不動尊

象の造頭は隆恩師の悲願でしたが、果たすことなく昭和五十九年に遷化されました。

多くの方々から不動尊像建立の話が聞かれるようになり、平成四年にブロンズの不動尊像が皆様のご協力を得て、造頭されました。

この見事な不動尊像は両脇の二童子、八角不動堂屋根の頂点に冠した露盤宝珠とともに埼玉県在住の彫刻家の板谷信吾先生（日本陶芸界の巨匠である板谷波山先生の甥）に制作いただきました。

〔短歌〕 志村美智子さんが円能院の

蓮の花を詠んで下さいました。

しろがねの露まるばせてさみどりの

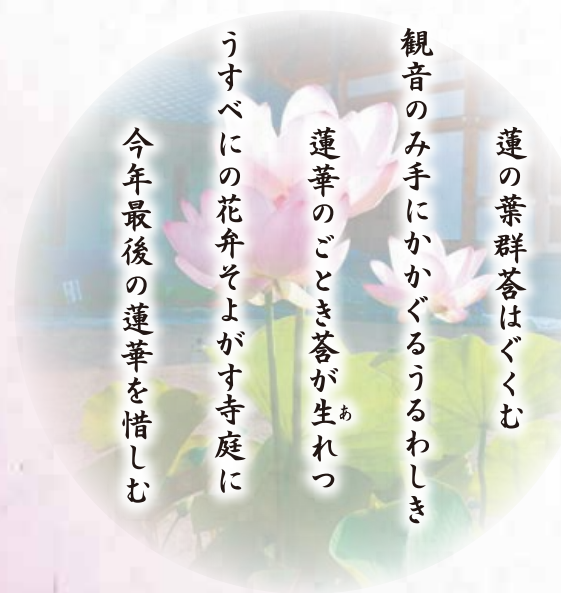
蓮の葉群蒼はぐくむ

観音のみ手にかかぐるうるわしき

蓮華のごとき蒼が生れつ

うすべにの花卉そよがす寺庭に

今年最後の蓮華を惜しむ



寺子屋 かるちゃー倶楽部

寺子屋は江戸時代、庶民の子弟に読み書き、計算や実務上の知識・技能を教育する民間教育施設でした。当院では21世紀の寺子屋「寺子屋かるちゃー倶楽部」と称して、ご檀家様、また近隣の皆様の日ごろから興味をもっていらっしゃる語学、教養、趣味の分野においての講座を随時開催致します。まずは1月中にスマートフォン、英会話の講座を予定しております。その他の講座に関する情報は随時掲示板にて告知を行います。



講師：土居 喜広
知的財産修士(MIP)
大手システム開発企業、ベンチャー企業のCTOなどを経て、2001年に株式会社イーコンテツを設立。大手企業のシステム開発やスマホ関連のシステム開発、そして知財セミナーなどを行っています。仕事でも趣味でもスマホを使っています。



特定のメーカーや通信会社などの
宣伝は切行いません。

日時：1月12日(土) 午後3時～4時
会費：1,000円
スマホやスマートフォンについてよく聞きますが、本当はどういうものか分かりにくいですよね？この教室では、スマホとはどういうものかから始まり、携帯電話との違いなどを分かりやすくお話しします。ご質問も大歓迎です！

ほんとくに初歩のすまほ
(スマートフォン教室)



住職が自信を持って推薦する講師人です。

※パソコン教室や料理教室など、ご希望の教室がありましたらお気軽にご要望ください。前向きに検討させていただきます。

日時：1月26日(土) 午後3時～4時
会費：1,000円
「英語が話せたらな」と漠然と思いつつ、どこから手をつけて良いか悩んでいる方も多いと思います。日本式の教育では「英語」つまり「長い勉強」と考えがちですが、本当は外国人とのコミュニケーションのための「道具」でしかありません。非英語圏の人向けに開発されたグローバル&イングリッシュの造語)の画期的な手法をもとに「まずはカタコトでも話す」といかに重点をおき、ストレスなしの楽しい英語の習得法を説明します。文法嫌い、勉強嫌いな方大歓迎。



講師：木村 達也
グローバルビジネス研究所公認講師
ニューヨーク市立大学卒業後、日系企業のニューヨーク支社において広報・宣伝部に所属。帰国後は外資系企業のGMを歴任後、ライフワークとして語学をはじめとした教育文化事業の普及に従事。

かたこと英会話教室
(寺子屋グローバルビジネス)



平成25年度写経会・講話会
第三土曜日 午後1時～写経 2時～講話

- 1月19日
- 2月16日
- 3月16日
- 4月20日
- 5月25日(第三は日枝神社のお祭り
なのでこの回は4週目)
- 6月15日
- 7月・8月はお盆のためにお休み
- 9月21日
- 10月19日
- 11月16日
- 12月21日

参加費・無料

写経用紙 千円(希望者のみ)

硯・筆などは寺で用意いたしますので、どうぞ気軽に参加ください。
初心者の方でも御遠慮なくお越し下さい。
なお、当院の都合により日時を変更する場合があります。
変更の場合は、寺の山門脇の掲示板に掲示いたしますので、ご了承ください。

恒例の年中行事

- 春彼岸……………3月17日～23日(中日20日)
- 花まつり……………4月8日(月) 甘茶のご接待を
いたします。
- 地蔵まつり……………(延命地蔵・水子地蔵・賢海法師・
弘法大師等への幡、塔婆供養)
4月29日(月・祝日)
午前11時 法要
- 施餓鬼会……………(先祖供養・新盆供養・
無縁精霊の塔婆供養)
7月10日(水) 午後2時 法話
午後3時 法要
- お盆供養会……………7月13日(土)～16日(火)
本堂での供養は、午前11時～3時
御希望の方には、ご自宅にお伺いし
てご供養いたしますので、
ご連絡下さい。
- 秋彼岸……………9月20日～26日(中日23日)
- 不動尊供養会……………(護摩祈祷)
11月28日(水) 午前11時
不動堂にて護摩供養

いずれも事前に、塔婆、幡、お札などの申し込みを受け付けております。
なお、当日の法話・講話・演奏会・余興・食事会などにつきましては、その都度お知らせいたします。



円能院のホームページ **公開中!**

ホームページアドレス <http://www.ennouin.jp/>
催事情報やコラムなどご覧いただけますので、ぜひ一度お寄りください。
また、ご質問・ご意見などもお受けしております。

発行所
金澤山 福泉寺 円能院
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電話:044(333)4476
FAX:044(366)6972

発行人
佐藤 隆一

円能院 第二十二世 佐藤隆一

昨年十二月四日から十日まで、世界連邦日本宗教委員会第三十一回ハワイ平和祈念使節団の一員として、パールハーバーにおける式典に参加して参りました。米国の陸海空軍の犠牲者とそれらの家族、生き延びた方々、合計約千人と共に犠牲者の鎮魂と平和への祈りを捧げました。
私が感銘を受けたことは、九十歳超の元軍人が怒りや恨みを超えて、二千四百人に及ぶ犠牲者への同情や憐れみでなく、平和の大切さと、自分が世界平和にどのような貢献ができるのかを考えて生きて欲しい、と前向きに語られたことです。人は辛苦を乗り越え、気高く生きることができると教えられました。

編集後記